

三島市郷土資料館 企画展

み よ ろ

三四呂人形

—これまでと、
これから—

平成29年2/4(土)～5/28(日)

(一部展示替えあり。前期 3/26 まで、後期 3/28 から)



水辺興談(張子・個人蔵)



つり(水彩)



ねむり猫(張子・個人蔵)



メリーさん(張子・個人蔵)



菜の花雛の話(版画・個人蔵)



桃子(張子・個人蔵)



里子(張子・個人蔵)



春日庭(張子・個人蔵)

【関連事業】

展示解説 4/29(土・祝)、30(日)、5/27(土)、28(日)

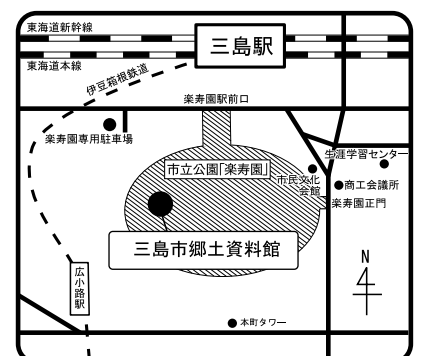
11:00～、13:30～ 45分程度※予約不要。当日、直接会場へ

三四呂人形のぬりえにちょうせん 期間中 毎日

本物の人形を見ながら、ぬり絵に挑戦しよう。

参加者には記念品を進呈。作品は期間中、展示室に掲示します。

開館時間 9:00～16:30(ただし、4月以降は17:00まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料 無料(ただし、楽寿園入園料として15歳以上300円。
学生は学生証提示にて無料)
交通案内 三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内



三島市郷土資料館

〒411-0036 静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内
TEL 055-971-8228 FAX 055-971-6045
<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>

三島市郷土資料館 企画展 ^{みよろ}三四呂人形 —これまでと、これから—

張子人形から水彩画・版画、木型まで

野口三四郎 ^{さんしろう}の作品を幅広く紹介

三四呂人形は昭和初期、三島出身の人形作家、野口三四郎によって作られた人形で、そのほとんどは紙の張子でできています。遊びまわる子供や家族、小動物を題材にしたものが多く、素朴でやわらかな印象を持つ人形で、当時たいへん高い評価を受けていました。しかし、三四郎が35歳の若さで亡くなったこともあり、現存する作品は多くありません。

今回は現存する三四呂人形をはじめ、水彩画、版画、制作に使われた木型や制作途中の人形など三四郎の作品と作品に関わる資料を幅広く紹介します。



左から「バラソルさして（張子）」「官妓（張子）」「親の心子知らず（水彩）」、木型、制作過程の張子（「親の心子知らず」以外、個人蔵）

最新技術でよみがえる三四呂人形

3Dデータ化による複製品づくり

昭和30年代に「三島母親の会」により始まった複製三四呂人形の製作・販売は平成初期まで続けられました。その後は市民グループ（北上くらしのサロン）や三島商工会議所によって複製品作りが試みられました。そして、平成27年には三島商工会議所と沼津工業高等専門学校の共同研究により3Dデータ化の技術を使った複製品作りが行われ、製品化の第一弾として「里子」の携帯ストラップの販売が開始されました（郷土資料館でも販売予定）。最新の技術により三四呂人形に触れてもらうための新たな可能性が見えてきました。



3Dデータ化作業と3D画像
（写真提供：沼津工業高等専門学校）

郷土教室（体験イベント）のお知らせ

2月	18日(土)	昔のどうぐ かつお節削り・お菓子の木型の体験など
	23日(木)	遊んで学ぼう富士山デー 富士山の溶岩観察、三島の自然カルタなど
3月	11日(土)	江戸時代の三島宿 立版古を作ろう、三島宿を中心とした展示ガイドなど

10:00～12:00、13:00～14:30の間に実施しています。

4月以降の予定については、決まり次第ホームページや市広報でお知らせします。

次回企画展

平成29年6/3(土)～9/10(日)

三島の指定文化財展

三島市郷土資料館

〒411-0036 静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内

TEL 055-971-8228 FAX 055-971-6045 <http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>